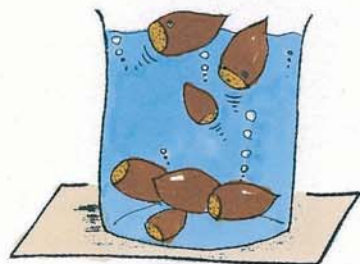


7. ドングリを育てよう

○ねらい：秋の林の小道にコロコロと落ちている、かわいいドングリたち。コナラやアベマキのドングリを拾って、ポット（鉢）にまいて育ててみましょう。比較的簡単に苗木を育てることができます。つくった苗を、まちの緑化や森づくり活動にいかしていきましょう。

●対象地：樹林地・境内林・学校・公園・庭など

ドングリのまき方・育て方



① 拾ったドングリから、まく種を選びます

- 水を入れたバケツに、拾ったドングリを入れます。
- 虫に食われたドングリは、浮いてきますから取り除きます。
- 水を2～3回かえながら、2日間ほど水につけておきます。

ドングリにはいろいろな種類があります。太っちょのアベマキやほっそりしたコナラなど。種まきをする前に、ドングリの種類を調べて、あらかじめポットに名前を書いておきましょう。



アベマキのドングリ

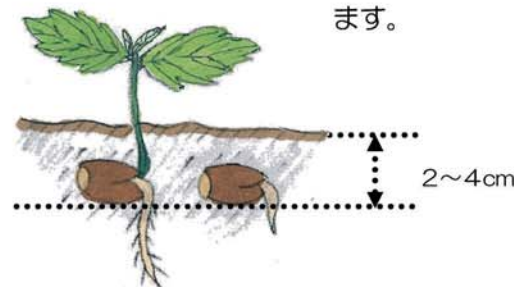


コナラのドングリ



② ポットの土にドングリをまきます

- ポットやプランターに山土と腐葉土（腐った葉）を混ぜた土を深さ10cm以上入れます。
- 土の上にドングリを横にして置き、土を2～4cmかけます。
- 土が乾いたら水をやるようにします。
- 秋にまくと、春までに根が出て、春にはかわいい芽を出します。夏から秋になると20cm～30cmに育ち、もう1年育てると50cm～60cmになり植えつけに適した苗木になります。



春に芽吹いたアベマキ

③ 育った苗木を植えつけます

- 植えつけの時期は苗木の新しい葉が開き始める前の、3月中旬から4月中旬ころが適しています。
- 植える場所に直径30cm程度、深さ30～40cm程度の穴を掘ります。
- 腐葉土を混ぜた土を10cmほど埋め戻し、その上に、根を広げた苗木を入れ、土を埋め戻します。水をたっぷりかけて、根元の周囲を踏み固めながら、もう一度土をかけます。

